

2025/6/2

東アジア資金部 ソウル室 +82-2-3782-5859

先週のマーケット動向(5月26日～5月30日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,369.0	1,385.4	1,360.5	1,380.1	+4.5
JPY/KRW	9.5715	9.6232	9.4210	9.5894	+0.002
KOSPI	2,598.45	2,720.61	2,595.96	2,697.67	+105.58

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は上昇。週初ドル/ウォンは1,369.0ウォンでオープン。米国の対EU関税引き上げについては7月まで延期することが発表され、センチメントが改善。ドル/ウォンは1,360.5ウォンの下値をつけた。翌27日からはBOK会合での利下げ警戒からウォン売りが拡大した。29日のBOK会合では、大方の予想通り25bpの利下げが決定された。また関税を巡る不透明感から25年の経済成長見通しが従来の+1.5%から+0.8%に下方修正された。直後にウォン売りが拡大し、一時ドル/ウォンは1,385.4ウォンの高値をつけた。しかし、その後米国際貿易裁判所がトランプ政権の関税措置の多くを違法と判断するとドル/ウォンは下落するも、30日にかけて米高裁が関税について当面の間効力を認めると判断したことで、再度関税を巡る懸念が高まったことでドル/ウォンは反発。結局、前週末比+4.5ウォンの1,380.1ウォンでクローズした。(韓国時間15:30)

今週の見通し

今週のドル/ウォンは若干底堅い推移を想定。米政権の関税政策を巡るヘッドラインに左右される展開が継続か。先週末トランプ大統領は中国が貿易協定に違反していると批判。その他鉄鋼関税の引き上げを発表するなど、不透明感が再燃。また、3日には韓国大統領選挙を控える。政治の空白解消はポジティブ材料であり、新政権への政策期待がウォン買いにつながるか注目したい。イベントを控えドル/ウォンは値幅が拡大する場面も想定されるが、関税への懸念から若干底堅い推移を想定する。

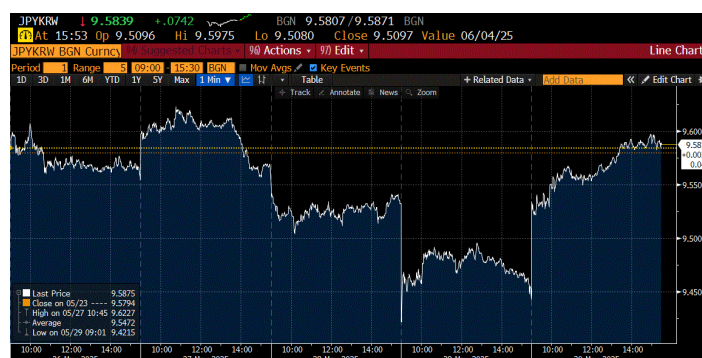
USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1365 ~ 1395	9.45 ~ 9.75	142.0 ~ 145.0

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 2日(月) 欧 5月 製造業PMI 確報値
米 5月 製造業PMI 確報値
米 5月 ISM製造業景況指数
- 3日(火) 米 4月 耐久財受注 確報値
米 4月 製造業受注
- 4日(水) 米 5月 サービス業PMI 確報値
欧 5月 サービス業PMI 確報値
韓 5月 CPI
米 5月 ISM非製造業景況指数
米 5月 ADP雇用統計
- 5日(木) 米 5月 失業保険新規申請者数
韓 1Q GDP 速報値
韓 4月 国際収支
中 5月 総合PMI
中 5月 サービス業PMI
欧 ECB 政策金利発表
- 6日(金) 欧 1Q GDP
米 5月 非農業部門雇用者数
米 5月 失業率